

## 今週のメニュー

■ [トピックス](#)

◇PVC News No. 83を発行しました

塩化ビニル環境対策協議会

■ [随想](#)

◇ブルキナファソ旅行記（3）－Ouagadougou－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

■ [編集後記](#)

## ■ トピックス

◇PVC News No. 83を発行しました

塩化ビニル環境対策協議会

12月14日に塩化ビニル環境対策協議会（JPEC）は[PVC News No.83](#)を発行しました。今号の「トップニュース」は、VEC主催で行った、これからの建築外皮（外壁、屋根、窓、床など）のあり方をテーマにした「環境時代のビルディングエンベロップを考えるシンポジウム」の内容についてご紹介しています。

No. 83号の構成は以下の通りです。

## ○ トップニュース

「環境時代のビルディングエンベロップを考えるシンポジウム」

長寿命化、省エネ、CO2削減など課題解決へ建築外皮の役割は？（VEC主催）

## ○ シリーズインタビュー/さきがけびと登場

「これからの住宅に求められる4つの視点」

－環境建築の第一人者が語る「安全、快適で美しく、継承される住まいづくり」

独立行政法人 建築研究所 理事長(工学博士) 坂本 雄三 氏

## ○ リサイクルの現場から

「震災被害の塩ビ管リサイクル」－岩手県洋野町の取り組み

隣町(軽米町)の協力を得て広域処理に挑戦。復興へ向け順調な動き

## ○ インフォメーション

「浅間山ろくの森の中で、塩ビがアートになっていた！」

－森の展示会「ハクリビヨリ#04」に見る、アートと塩ビの独創的コラボレーション

## ○ ものづくりの現場から

ヤスダビニール工業(株)のリサイクル塩ビシート

塩ビの有効利用に取り組んで40年。製造工程の陰に光る、工夫とテクニック

## ○ 広報だより

- ・「旭川水道展」でRRロング管の耐震性などをPR（塩化ビニル管・継手協会）
- ・「エコ素材・塩ビ」をアピール。「エコプロダクツ東北2012」に出展(VEC/JPEC)
- ・「名古屋プラスチック工業展2012」で塩ビものづくりコンテスト特別展示

掲載記事をいくつかご紹介いたします。

「シリーズインタビュー/さきがけびと登場」はトップニュースに掲載した「環境時代のビルディングエンベロップを考えるシンポジウム」でコーディネーターをつとめていただいた独立行政法人建築研究所 坂本雄三理事長にご登場願いました。「これからの住宅に求められる4つの視点」と題したお話では、これからの住宅を考える上では安全・快適・美しさ・継承性がキーワードとのこと。これからの家造りについての貴重なアドバイスをいただきました。

「インフォメーション」は、森の展示会「ハクリビヨリ#04」に見る、アートと塩ビの独創的コラボレーションの紹介。

小諸の森の中に多くの作品、その中で塩ビのシートで出来たオブジェ「Artificial filter」。  
差し込む太陽の光にあたり輝く作品。芸術と塩ビの加工屋さんとの出会いが作品を完成させました。作者の小林さんの作品製作への熱意に感激しました。



「Artificial filter」

三回目になった「ものづくりの現場から」のコーナーでは、リサイクルシートを作る会社を紹介しました。

紹介するヤスダビニール工業(株)は工場から出る様々な端材を回収し、リサイクルシートを製造。リサイクルシートは車検証入れや、旅行用のタグなどの製品になります。シートの色・硬さの調整などは職人さんの技術。まだまだ日本のものづくりも元気に頑張っている姿を見られました。

『PVCニュース』は[JPECのホームページ](#)から、最新号、バックナンバー共にご覧頂けます。

ご講読を希望される方は、[こちら](#)まで、送付先・TEL・希望部数などをご連絡下さい。

## ■ 随想

### ◇ブルキナファソ旅行記（3）－Ouagadougou－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

第1回の旅行記でもお伝えした通り、ブルキナファソの首都はワガドゥガー、アルファベットで書くと Ouagadougou です。

カタカナで書くとワガドゥガーですが、この発音、結構難しいです。最初の「ワ」は「ワ」と「ウ」の中間の発音。「ドウ」は舌の先ではなく「ド」に近い、舌を口の中で下げて、口の中に籠るような発音。「ゲー」もどちらかという口の中に籠らせます。滞在しているホテルの人や、知合った人にも習いましたが、いまだにブルキナファソの人が納得する、正しい発音ができません (^\_^)

Ouagadougou の印象は、一言で言えば、典型的なアフリカの田舎町。国際空港があり、首都ですよ、と言われて来ればそうかなと思いますが、長距離バスで Ouagadougou に着くと、ちょっと大きな田舎町に着いたのだと間違えそうです。

街中は、大統領府、中央銀行、ホテル、国連関係機関など、一部、高い建物（と言っても 10 階建て程度）がありますが、点在しているため、ビル街はありません。中心部も空き地が多く、アフリカ独特の赤い土埃が舞っています。

西アフリカは日本の秋が“雨季”に当たります。“雨季”と言っても、日本の梅雨のように毎日、雨が降り続けるのではなく、強い日差しの中、スコールのように短時間土砂降りの雨が降ります。

赤い土埃が舞っているから、お湿りにちょうどいいんじゃないと考えると大間違い。赤い土埃が舞うということは、土壌は赤土。この赤土、赤レンガの材料にもなる粘土質の土壌です。粘土の上に、雨が降るとどうなるか？ そう、ツルツルに滑り出します。また、水が浸み込みにくいためそこら中に大きな水たまりが出現します。再び、アフリカの強い日差しで地面が乾くまでは人も車両も要注意。かなり気を付けていないと、足を取られたり、スリッパをしたりして怪我や事故につながります。

ところが、足を取られてひっくり返ったり、スリッパのため事故を起こしたりしているのは外国人ばかり。ブルキナファソの人達は、何事もないように、ツルツル滑る道路を歩いたり、車やバイクで走行したりしています。生まれた時からこのような環境にいと、そのような能力が身に着くのでしょうか？

滑る赤土の中、一部の道路は舗装されていますがメンテナンスができていないので路面はボコボコ。中には埋設された水道管の漏水のためでしょうか、アスファルトが広範囲に陥没しているところもあり、安心できません。

庶民の交通はバイク（スーパーカブ）が主流のようで、男女を問わず、もの凄い数が走っています。ヘルメット着用義務はないそうで、被っている人はごくわずか。

車もそうですが、整備状態が悪く、白煙、黒煙をまき散らしながら走行をしている車両が数多く、排気ガスによる環境汚染が大きな問題となっています。呼吸器疾患の人が増えているという調査報告もあります。

街の建物を見ると、なかなか凝ったデザインの建物が多くみられます。中には未来都市の建物のようなデザインも。

完成した建物はいいのですが、建築の途中で放棄されたビルも数多くあります。また、2～3階建ての建物にしようと思ったのですが、1階だけ完成し、商店やレストランが営業をしていますが、2～3階は未完成のままかなりの時間が経っているような建物も数多くみられます。



なぜこのようなことが？ 建築費用が高騰したのかな？ こういう時は現地の人に聞くのが一番。その答えは

建てたいときに建築を始める。

その時、用立てができた範囲の金額でできるところまで工事を進める。

途中でお金が無くなったら、工事はストップ。使える階があればそこは使う。残りの建設は、「お金ができたなら再開すればいい！」

おお、なんて合理的な考え方。って、完成するのはいつ？



廃墟ではなく、3・4階は建設中です。  
完成はいつ？

日常の買い物は街の至る所にある市場で。

昨年、訪問したマリ共和国では市場の衛生状態が

気になったのですが、ブルキナファソは他のアフリカ諸国と同様、それほど気になるものではありませんでした。とは言っても、ハエが多い。肉などには解体した段ボール箱などを被せてはいますが、何も被せていない肉には真っ黒になるくらい、ハエがたかっています。

街中に中国人が多いせいもあり、市場に行くと「中国の人、今日は人参が安いよ、キャベツも安いよ」とあちらこちらの店のおばさんから声がかかります。

味はどの野菜も日本のものより濃厚。というより、キャベツも玉ねぎもトマトも「砂糖が入っているのかな？」と思うほど甘く感じます。育てる土壌の関係なのでしょうか？

日常生活に必要な市場だけでなく、携帯電話の市場もあります。ブルキナファソも大携帯電話ブーム。所謂、フューチャーフォン（昔ながらの携帯電話）からスマートフォンまで、多くの電話が売られています。

携帯電話は日本のように通信会社のお店で買うのではなく、気に入った電話機を携帯電話屋さんで購入し、通信会社のSIMと呼ばれるICカードは好きな会社、料金の安い会社のものを別途購入し、電話機に挿入するだけで使用可能となります（SIMロックフリーと言われるものです）。

通話料金はプリペイド方式。SIMカードも、プリペイドカードも、お店だけでなく、路上販売も盛んです。それほど大きな差はないようですが、お店や売り手によって販売価格が若干異なっています。

さて、この携帯電話、残念ながら日本のメーカーのものは1種類もありませんでした。多いのはフィンランドのNokia（フューチャーフォンが中心）と韓国のSAMSUNG。

Nokiaはアフリカ向けに非常に安い（日本円で2,000円程度）の携帯電話を販売しているのは知っていましたが、SAMSUNGの電話機も異常に安い。安すぎる！と思って見ていたら、店員さんがこっそり囁いてきました。

「あなただけのスペシャル。まだ正式発表になっていないiPhone 6もあるよ」

ん？ 9月12日、Appleが発表し、全世界で予約受付中なのはiPhone 5だったはず。iPhone 6なんて、あるわけない。

はい、聡明な皆様はお気づきになりましたね。ここで売られているスマートフォンのほとんどが、某国製のコピー製品でした。それにしても、本物そっくりによくできていること。性能は別として、ちゃんと使えているようだし、思わず買いそうになってしまいました（^\_^ゞ

（つづく）

⇒ [バックナンバー](#)

## ■ 編集後記

今年も、衆議院選挙での大きな変化を受けて、年越しを迎えます。昨年の東日本大震災からの復興を目指して、多くの方が努力しておられますが、まだまだ、先の見えない状況が続いています。明るい話題は山中先生のノーベル賞受賞でしたが、来年こそ、経済の明るい兆しを信じ、人と人との出会いを大切にして、多くの話題を提供していきたいと思っています。

今年のメルマガは今号で終わり、来年は1月10日(木)からのスタートとなります。  
今後ともよろしく願いいたします。(円行)

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 東 幸次

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)